

朝霞市の道路美化活動団体制度

埼玉県 朝霞市 都市建設部 道路交通課

はじめに

道路は車両交通や人々の往来にとって重要な役割を果たしており、地域住民の日常生活を営む上で安全・快適な道路環境づくりを確保することは、極めて大切な行政の責務であります。

このような道路環境づくりの中で朝霞市の道路美化活動団体の一団体が平成 23 年 2 月 19 日に埼玉県道路協会から長年の道路美化活動の功績を認められ表彰を受けさせていただきました。

つきましては、本市の道路美化活動団体制度について、概要ではありますがご報告をさせていただきます。



写真（活動状況）

1. 朝霞市の概要

朝霞市は、平成 23 年 4 月 1 日現在人口 130,764 人、世帯数 59,144 世帯、面積 18.38 km²で、南北に約 6.3km、東西に約 4.6km の形状で埼玉県の南西部に位置し、東京都心から約 20 km 圏の距離にあり、和光市、新座市、志木市及びさいたま市などに隣接しています。

本市の地形は、荒川、新河岸川、及び黒目川が流れる北東部の荒川低地と、南西部の武蔵野台地に大別される変化に富んだ地形となっています。

交通網は、国道 254 号（川越街道）が市内の南部を通り都心と川越方面に連絡し、東京外かく環状道路のインターチェンジに近いので、道路アクセスの利便性が高い地域であります。

鉄道では、都心と直結する東武東上線と東京メトロ有楽町線・副都心線が本市の中央部を東西に通じ、また、JR 武蔵野線が北部を東西に通っています。

将来的には東京メトロ副都心線は、神奈川県横浜中華街方面と接続し、ますます交通アクセスが便利になっていくことと思われます。

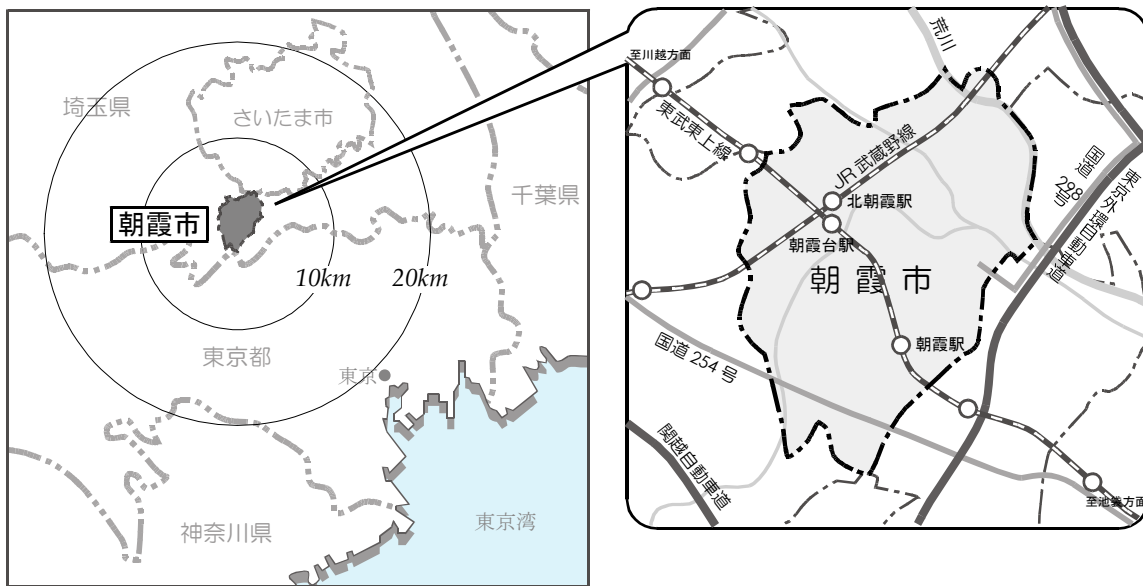
歴史的には、水車を利用した伸銅工業や舟運による江戸との往来が盛んな地域でありましたが、今では、東京都心への交通が便利なことから、東京のベッドタウンとして成長してきました。

このようなことから市の人口は増加しており、東京都心への通勤サラリーマンも多く、マンションや分譲住宅の建設も増加し、若い年齢層の世帯が増えております。

市内の主な施設としては、陸上自衛隊朝霞駐屯地・自衛隊広報センター・東京都水道局朝霞浄水場や東洋大学朝霞キャンパス等があります。

また、主なイベントとしては、春には黒目川花まつり・夏には彩夏祭において、関八州よさこい踊りが市内道路で繰り広げられます。

市内の生産物では、人参等の生産が盛んに行われており、人参を使った人参羊羹やさつまいもを使った焼酎等、朝霞ブランドとして地域発信をしております。



朝霞市の位置

2. 道路美化活動団体制度の創設

本市では、花と緑のまちづくり事業の施策において、平成17年度に朝霞市道路美化活動団体制度を創設し、積極的に道路美化活動を推進することとしました。

道路美化活動団体制度設立の目的といたしましては、朝霞市の管理する道路等において、ボランティアで道路美化活動を行う市民団体等を道路美化活動団体として募集し、市民と行政が協力して、快適で美しい道路環境づくりを推進すると共に、道路愛護意識の向上を図ることを目的としました。

道路美化活動団体の設立要件としては、

- ① 会員が5人以上であること。
(人数については、夫婦・兄弟等を含んでも可能としました。)
- ② 年4回以上活動すること。
(回数については、春・夏・秋・冬の時期の活動を想定しています。)
- ③ 年に1度活動報告書及び活動計画書を提出すること。

としました。

団体の設立構成としては、学校・会社・町内会・老人会など幅広く募集をしました。

年度別累計団体数及び会員数は図表1にまとめさせていただきますが、

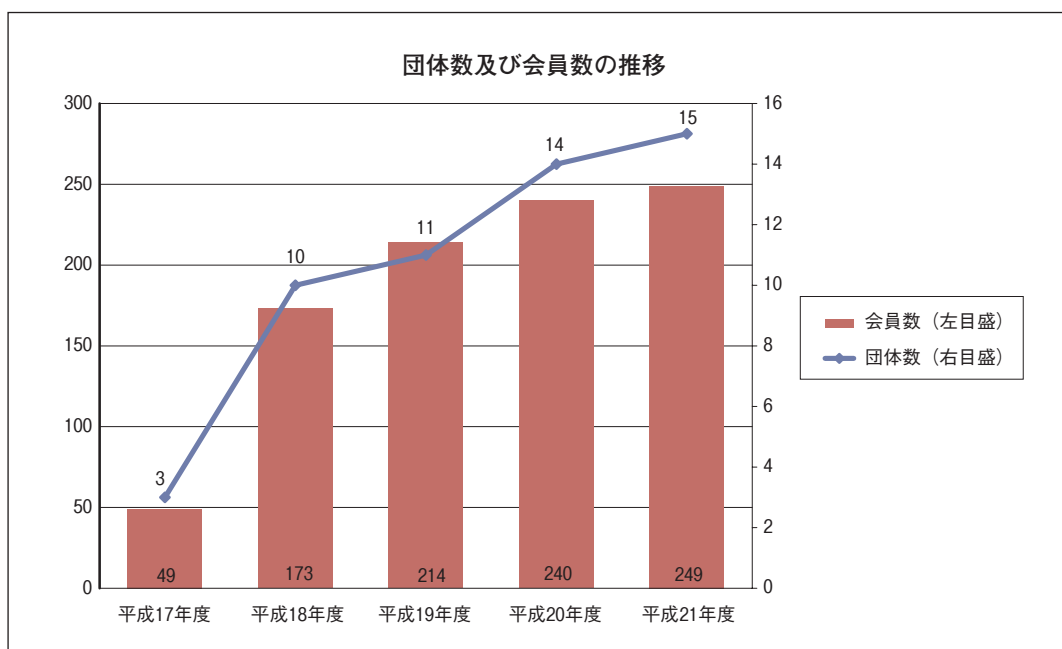
平成 17 年度は	3 団体	49 人
平成 18 年度は	10 団体	173 人
平成 19 年度は	11 団体	214 人
平成 20 年度は	14 団体	240 人
平成 21 年度は	15 団体	249 人

とわずかながらではございますが増加してまいりました。

平成 22 年においては、残念ながら新規設立団体はありませんでした。

また、どちらかといえば、道路清掃のみの団体よりも、花壇やプランターなどを活用して、草花の植栽等を行うことを望む団体が多く見られます。

しかしながら、植栽を行うスペースを確保することが難しいため、十分に道路美化活動団体からのご要望に応えられない状況もあります。



図表 (団体数及び会員数)

3. 道路美化活動団体への支援

本市の道路美化活動団体は、平成 23 年 4 月 1 日現在、15 団体、249 人の会員で構成されております。

主な活動状況といたしましては、清掃・プランターなどでの植栽・除草・水やりなどを行っております。

また、活動の日数といたしましては、週 1 回程度から年 4 回などと活動場所の状況や構成団体の人数などにより様々です。

各団体は、それぞれの道路環境を生かして、楽しみながら生き生きと活動している様子が見られます。

団体の年齢階層については、高齢者の方々が多く見受けられ、男女別では、女性の方が約 6 割、男性の方が約 4 割となっております。

なお、年に 1 度道路美化活動団体の活動報告書及び活動計画書を提出していただいておりますが、現在まで会員の活動による事故については報告されておられません。

しかし、会員の方々の万が一の事故に対する補償として傷害保険に加入し、万全を期しております。

支給品については、ほうき・ちりとり・軍手・ゴミ袋などの清掃用具や、花の苗・肥料など要望のあったものを支給しています。

さらに、活動場所に活動団体名等を記した看板を設置するなど団体を支援しており、道路清掃活動により発生するごみ類については、市において回収しております。

朝霞市道路美化活動事業

この市管理道路はボランティアにより道路美化活動が行われています。

団体名

 朝霞市都市建設部道路交通課

4. 道路美化活動制度の課題・今後の取組

本市内の道路認定線数は1,250路線、道路延長は約25.5kmあります。

本市の道路美化活動団体は、現在15団体すべてが地域単位で構成された団体で、学校や会社単位の団体は残念ながら設立されていません。

このような状況から、商工関係団体・こども会や市内にある高等学校や郵便局・信用金庫等への働きかけを続ける必要があるものと考えています。

また、本市にはまちの玄関口としての駅前広場が、東武東上線朝霞駅・朝霞台駅・JR北朝霞駅の3駅合わせて5ヶ所の駅前広場があります。

この内、道路美化活動団体が設立されているのは朝霞駅東口の1ヶ所にとどまっています。

今後は、駅乗降客の方々に快適な道路環境を提供するため、すべての駅前広場に地域主体の道路美化活動団体の設立を広げたいと考えています。

さらに、既存の団体においても、歩道用地等の買収した土地の残地などの余剰スペースを可能な限り活用して、花の植栽などが出来るようにして行きたいと考えています。

団体の活動においては、団体によって活動日数や活動時間に差異があるため、定期的清掃を維持していくことが難しい状況もあります。

財政面では、草花・清掃用具類の消耗品費については次の通りです。

(ボランティア保険料については、会員一人当たり年額200円の保険料の負担をしております。)

年度別決算額では、	平成17年度	決算額	157,500円
	平成18年度	決算額	66,682円
	平成19年度	決算額	124,239円
	平成20年度	決算額	172,153円
	平成21年度	決算額	255,800円
	平成22年度	決算額	264,264円

となっております。

また、仮に植栽や清掃業務を専門業者に委託業務を行った場合、継続的な道路環境は確保されますが、財政的な見地においても大切な施策のひとつと考えております。



写真（活動状況）

最後に

本市としましては、財政的な視野も含め、今後も道路美化活動団体制度を継続し、道路美化活動団体を支援して行きたいと考えております。

また、主要な市道や駅前広場に、より多くの市民の方々が道路美化活動に参加していただけるように環境整備を進めてまいりたいと考えています。

さらに、道路美化活動団体が地域の他団体と連携し、地域コミュニティーの中核となれば、平成23年3月11日に発生した東日本大震災や台風・ゲリラ豪雨などの自然災害発生時で、生命の危機的状況の中においても地域同士の助け合いの結びつきが深まっていくものと期待しています。

道路美化活動は、単に道路清掃や花の植栽をするのみならず、地域住民同士の「命の絆」という極めて重要な役割を担っていくことを常に自覚していかなければならないと思います。